# わたしたちの人権 88

だれもが人間として生きていくうえで侵すことのできない当然の権利これが『人権』です

## 差別のない町をつくろう…… 第17回「5・23差別をなくす山都地区集会」

5月26日、矢部中学校体育館で第17回「5・23差別をなくす山都地区集会」が開催されました。669人の参加者がありました。この集会は部落差別をはじめ、いじめや仲間はずしなどのあらゆる差別をなくしていくことを目的に、子どもたちが主体となりながら、大人も共に学び合う場です。

開会前のオープニングを務めたのは、矢響太鼓（やきょうだいこ）。日ごろの練習の成果を、力強いバチさばきで披露しました。続いて、同和保育園の園児、先生、保護者が「どろんことたいよう」「つばめになって」「にじ」を爽やかに合唱しました。

問題提起では、矢部同研サークルの堀本先生が、紙芝居を使って「自分のふるさとがすき」このほか、解放子ども会小学部、矢部小学校4年生、解放子ども会中学部・矢部中学校生徒会が発表しました。

このなかで、中学部の藤本大珠くんの発表では、隣保館・児童館での聞き取り、学習を積み重ね、その役割をわかりやすく伝えました。昨年、集会に立てなかった自分を見つめ直し、「小さな取組を大きな自信にかえよう」というスローガンに込められたとおりに、自信を持って発表、たくさんの方に感動と勇気を与えました。

「そんなまちを」を合唱する参加者

## 昨年に引き続き、今集会でもアンケートを実施しました。そのなかの一部をご紹介します。

【小学生】

○「部落があるから差別がある」というのがとてもおかしいと思った。言った人も許せないです。わたしは「部落の人達はわるくない。差別をする人がいけないんだと思いました」「女性」

○かいほうこども会小学部の人がくわしく話していたので、どうわ保育園は楽しかったんだということがわかりました。「どうわほいくえんがなくなればいい」といった人がいたときききました。さべつをなくすためにがんばってつくられたのにゆるせないとおもいました。「女性」

【中学生】

○最初の太鼓がカッコよかったです。同和保育園のみんなが歌うとき楽しそうに歌ってすごかったです。

○子ども達の自主的な感想発表など、自分たちの手で差別をなくそうとする強い思いが感じられました。今後もこの集会を広く広めていってほしいと思います。「女性」

【一般30代】

○今回初めて参加しました。この集会に参加して、みなさん一人一人の方が、差別をなくそうと熱心に取り組まれているので、その熱意がひしひしと伝わって来ました。将来、差別のない、偏見のない世の中がくることを心から願っています。この集会での取組が明るい将来につながると思います。今日は本当にありがとうございました。「女性」

○子どもたちの意見発表はとても良かったと思います。大人も子どもたちに負けないように頑張りたいと思います。「男性」

【一般40代】

○園児から中学生まで自分の地域や仲間たちに誇りを持ち、伝統や思いを受け継いでいこうとする気持ちがよく伝わってきました。大人も日々の忙しさにかまけず、子どもに負けない強い意志を持った生き方をすべきと思いました。「女性」

○矢部中学校の藤本大珠さんの発表はとても心を動かされました。反差別に向けて、ともに歩み、ともに差別をなくしていくなかまはこれからもっともっとできてくると思います。部落差別の具体的な一つの姿に出会えてよかったです。「男性」

【一般50代】

○子どもたちの発表に感動しました！みんなが一生懸命自分なりに考え、自分にできることに取り組んでいくことが大切だし、たのもしく思います。こんな子どもたちが、このまま大きく育ってくれたら差別は無くなっていくのに．．．我々大人たちもしっかりしなければならないです。「男性」

○保育園・解放子ども会・小学生・中学生、それぞれの発表にとても心を打たれました。今すべてに自信がなく、現実から逃げたいと思い悩んでいる毎日でしたが、今日みんなの発表を聞いて（特に中学部の藤本君の言葉）もう一度頑張らなければ！と思いました。涙がこみあげてきました。ありがとうございました。「女性」

【一般60代】

○開会前の太鼓演奏は、気分を高めて良かった。発表は、どれも内容が高く、心に残った。スタッフの皆さん方の努力が伝わって、気持ちよい時間が過ごせた。「男性」

○年々、内容が充実してきていると思います。今年は特にすばらしかった。特に矢部小4年の発表には感動し涙が出ました。子どもたちに、生き方のあるべき姿を学んだような気がしました。その他声の聞き取れないところがあり、ゆっくり、はっきり伝えることを指導して下さい。藤本くんの成長もすばらしかった。うれしかったです。「女性」

【一般70代】

○大人が子どもたちに学ぶ一日でした。子どもたちの作文はよく書きこんでいて感心しましたが聞き取る側は充分に受け取りにくいので、だいじなところだけでもプリントしてあればよかったのではと思いました。矢部小4年の「たから」も要点がほしかったです。このような会がずっと続き広がっていきますように「女性」

○同研の問題提起は子どもにわかりやすく、とても大事な内容ですごくよかった。子ども会の紙芝居は子どもたちが力を合わせて働いている様子がよく伝わりました。全体として明るく、力強さを感じました。矢部小4年生の発表は、大事な内容ばかりですばらしかったよ。子ども会中学部の「小さな取組を大きな自信に」はとてもいいですね。「男性」



## 季節のうた

▼やまなみの会

晩霜に見舞はれお茶の伸び悪く　赤星たづえ
花吹雪浴びて阿蘇野に遊びけり　岩村ヨシ子
観音を祀り桜を守る里　天崎　信恵
目の手術奥歯の治療この次は何の治療か友と語らう　田代　エミ
異常なしの検診結果報告す遺影の夫の笑顔にも春　今村　芳子
白い髪染めるが如く黒々と山は野焼きで若返りおり　本田健二郎

▼通潤句会

音立てて峡の一村みどり立つ　中村　暢子
新樹光十方の風招きたり　菊池　成河

▼清和短歌会

人知れず咲きて散りゆく奥山に落ちて紅なす山椿かな　大塚　叢司
遠く住む異国の孫に送らむと紅葉一ひら文にしのばす　山本　フサ
春うらら時を忘れて散歩せし手の中には伸びし土筆あり　梅田　市子

▼馬見原酔山会

命日を語りかけつつ新茶いれ　岩永　周子
薫風や身の内までも吹くやうな　渡邊　勝子
金環食見る足下に紫蘭かな　岩永　博

## 7月の当番医

| | | |
|---|---|---|
| 7月 1日 | 矢部広域病院 | （電話72-1121） |
| 7月 8日 | 瀬戸病院 | （電話75-0111） |
| 7月15日 | 蘇陽病院 | （電話83-1122） |
| 7月22日 | 髙田整形外科 | （電話72-1007） |
| 7月29日 | 坂本クリニック | （電話72-0210） |

## 山都町の人口

〔平成24年5月31日現在〕

| | | |
|---|---|---|
| 男 | 8,457人 | （−10） |
| 女 | 9,031人 | （−15） |
| 計 | 17,488人 | （−25） |
| 世帯 | 6,725戸 | （+2） |

※（　）は前月比
※最高齢は107歳〔女性1人〕
※1月1日～5月31日の出生届数 35人（うち5月は7人）
※1月1日～5月31日の死亡届数 141人（うち5月は23人）

## 犬や猫を飼ううえでの3つのマナー

家族の一員でもある愛犬・愛猫も、マナーを守らなければ周囲に迷惑をかけます。飼い主は、最低限のルールを守りましょう。

### 1　犬は放し飼い禁止・猫は周囲に迷惑のかからないように

犬の放し飼いは、人に危害を加える恐れがあり、危険です。また、保健所に捕獲され、処分されることもあります。鎖で繋ぎ囲いの中に入れ、逃げないようにしてください。

また、猫も家の中で飼うなど周囲に迷惑のかからないような配慮をお願いします。

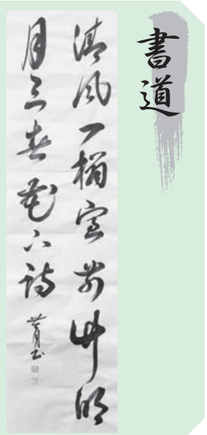
### 2　捨て犬・捨て猫　禁止

飼い主の身勝手のために捨てられた犬や猫の保護が多くなっており大変困っています。最後まで責任を持って飼うことは飼い主の義務です。

### 3　フンの放置禁止

フンの後始末は飼い主の責任です。そのままにしておくことは悪臭や害虫の発生のもととなり大変不衛生ですし、また、地域住民とのトラブルにもなりかねません。飼い犬・飼い猫が敷地外で排出したフンについても必ず飼い主が処理を行ってください。

問い合わせ先　役場　住民環境課　環境衛生係72－0767



和光教室書道部の八田豊久さん（入佐）作

## 編集後記

2009年の部分日食のときもそうでしたが、今回の金環日食観測会も、清和高原天文台の上空は曇り空。しかし、あきらめず待っていると、2009年同様、雲の切れ間からもったいぶるようにその姿を見せてくれました。

次に日本で金環日食が見られるのは、18年後、2030年の北海道だそうです。Ⓕ